

10月20日(土)

会場：あすと第一 復興住宅
参加：無料

どなたでもご参加頂けます

ごぜん **11時**
～ **3時**
ぐらい

あすと長町 こどもたちがおもてなしする
コミュニティアート食堂

こども食堂

× おしるこカフェ

みんなで焼くお好み焼き

みんなでわいわいたのしく
テーブルにおいた鉄板で焼きます



もちろのおしるこも、
下山せんが干葉で
おいしく小豆を
煮て来ます！



【短信】先月「おしるこカフェ」を訪れたアチェの3人は、宮城のほか、福島や岩手の被災地見学を行い、東京でホームステイをしたのち、全員無事にアチェに帰りました。12月には彼らを中心にアチェで2回目となるアートプロジェクト「アチェ＝ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト2018」が行われます。日本からアチェへのツアーも企画しています。興味ある方はご相談ください。



画：パルコキノシタ

みんなで焼こうお好み焼き

先月はインドネシアのアチェから来た若者たちによるサテとおしるこガールズによるサテだ、どちらも美味しかったですね！ ピーナッツソースでいただく牛串のサテはアチェの伝統料理。アチェの若者たちは本場の味を再現したいと本当に一生懸命でした。彼らを心から受け入れていただき、ありがとうございました。アチェで彼らと12月に「おしるこカフェ」を開く予定です。

さて、今月はテーブルに鉄板をおいてみんなで作るお好み焼きです。どなたでも無料でご参加いただけます。ぜひ誘い合わせの上、おこしください！



あのさんま祭りの人ばかりを見て思ったのは、この中の一握りでもいいから、東北に住みたい人が増えないかなあと思うこと。みなさんは今、どこで暮らしてみたいですか？

今の若い人たちは、まだ東京に住みたいと思ってる人が沢山いるのかな。東京の方がまだこちらより便利でしょうか。私は数年前は仕事がない日はほとんど東京か海外にいて、家を空けていました。それでも東京に住みたいと本気で思ったことは一度もありませんでした。圧倒的に魅力的な場所だけど、東北はご飯と水が美味しいし、部屋は広く、夜は静かに眠れる。インターネットがあれば情報はほぼ完全に補填できる。車があれば、何処へも行ける。テレビで話題のスイーツが食べたい時だけ、新幹線に乗れば良いけど、こちらのお祭りもなかなか楽しいですよ。

先日、女川のさんま祭りに行きました。いつもご飯を出してくれた母には申し訳ないけど、人生でこんなにさんまが美味しいと感じたことはない！さんまが旨い！大混雑の中、2匹完食！その次の週末は、山形県上山市の「かかし祭り」に寄り道。かなりシュールな雰囲気でしたが、出店などでわりと賑わっており、人混みにはならず、遊ぶ子供たちを見て癒されました。



姉評連載
エッセイ

あすと長町



通信



題字とくまもののイラスト：まなみちゃん

この活動は、2012年1月から、いろいろな方が集い、出会う場所になればとの思いで、さまざな人の輪により毎月一回、あすと長町エリアで開催しています。

【主催】あすと長町こども食堂・おしるこカフェ、あすと長町市営住宅心まわり会、長町第3復興住宅自治管理組合、あすと長町コミュニティ構築を考える会、特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし、一般社団法人M M I X Lab、一般社団法人アート・インクルージョン、一般社団法人まちとアート研究所
【共催】宮城教育大学村上タカノ研究室
【助成】復興庁「心の復興」事業
【お問合せ】門脇篤 080-4367-7035 info@kadawakart.com

2018年10月
第85号